

# 經濟論叢

第七十三卷 第二號

---

- 地方税改革案における若干問題……………神戸 正 雄 (1)
- 會計學と經濟學との交渉……………鎌 倉 昇 (15)
- 政黨連合運動の基盤……………市 原 亮 平 (30)
- 鐵道業における獨占形成と投資金融……………越 後 和 典 (47)
- 曾我部靜雄著「均田法とその税役制度」……………堀 江 保 藏 (65)
- 

[昭和二十九年二月]

京都大學經濟學會

# 京都大學經濟學會規則

- 第一條 本會を京都大學經濟學會と稱する
- 第二條 本會は左の會員を以て組織する  
 (イ)正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師  
 (ロ)助學會員 京都大學經濟學部出身者  
 (ハ)贊助會員 本會の事業を贊助する者  
 (ニ)名譽會員 京都大學法學部教授、助教授、講師
- 第三條 前條の外所定の會費を納めて「經濟論叢」の頒布を受ける個人及團體は購讀會員とする
- 第四條 特別の場合に限り前二條に定められた會員以外の者にも會員に準ずる取扱いをすることができ
- 第五條 本會の事務所は京都大學經濟學部に置く
- 第六條 本會は左の事業を行ふ  
 一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること  
 二、別號を發行することがある  
 三、毎月一回學術叢書を發行すること  
 四、毎月一回公開講演會を開催すること
- 第七條 (略)
- 第八條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號は此限りではない
- 第九條 會員は左の會費を納めなければならない  
 一、正會員 八百圓  
 二、助學會員 七百圓  
 三、贊助會員 壹萬圓以上
- 第十條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による
- 第十一條 昭和二十七年十二月

京都大學經濟學會

## 既刊目次

第七十二卷 第五號	十一月一日發行 定價 六〇圓
マブリ研究……………	田中眞晴
フィジオクラートと古典學派……………	菱山泉
日本鐵鋼業における日鐵資本の地位……………	河合信雄
「日本勸業銀行史」 「同資料」……………	堀江保藏
第七十二卷 第六號	十二月一日發行 定價 一〇〇圓
マルクス死後七十年記念特集	
マルクス經濟學の現代的意義……………	岸本誠二郎
剩餘價值率・利潤率・利益率……………	岡部利良
資本制生産社會の基本的矛盾と恐慌……………	吉村達次
マルクス「經濟學批判體系」研究序說……………	吉信齋 鶴嶋雪嶺
林業地代論の一考察……………	齋藤博
第七十三卷 第一號	一月一日發行 定價 六〇圓
資本蓄積と外國貿易……………	松井清
ドイツ帝國主義と經濟政策……………	大野英二
信用貨幣とインフレーション……………	眞藤素一
日本鐵鋼業の問題點……………	菅谷重平

こで、昭和四年以降の農業恐慌を基盤として生じた軍部革新將校と農民運動との結合が政府匡農政策の實施（七年以降）と農民經濟の小康化（六年には恐慌の「底」にまで落ちこんだが七年を轉機とし八年には「特殊なる不景氣局面」へ浮びあがつた）によつて解體し、八年には『非常時』反動小康時代が現出し、ここに金融資本家的重臣勢力がバックとなつた『朝飯會』、さらに金融資本のエーゼント『番町會』の政治活動（政黨復元）が展開されるゆえんに論及し、これら「現状維持」諸勢力の政黨連合運動が樞密院副議長平沼の影響下にある司法官僚や貴族院、既成政黨の親軍派、さらに觀念右翼的軍部の反攻にあつて、ついに『帝人事件』に埋葬せしめられてゆく社會經濟的背景が検討・考察されるであろう。

二八・九・二——（以下次號）——

【補記】 續稿をも含めて本稿は、二十八年度文部省科學助成金の補助に負うものであり、その研究報告である。感謝の意を表しておく。

### 執筆者紹介

神戸 正雄 京都大學名譽教授

鎌倉 昇 京都大學助手

市原 亮平 京都大學大学院學生

越後 和典 京都大學大学院研究獎學生

堀江 保藏 京都大學教授

恒藤恭・末川博編集

# 季刊法律學 第十七號

## 特集 新中國の法律制度

編集者のことば……………平野義太郎

### 總論

——人民民主政權の國家體制……………平野義太郎

土地改革法……………旗田 巍

婚姻法……………仁井田 陞

勞働組合法……………本橋 溍

私營企業暫行條令……………幼方直吉

貿易法規……………米澤秀夫

### 司法制度

——その特質と機能……………福島正夫

### 反革命條令

——反革命犯罪に對する鬭争……………宮内 裕

選舉法……………高橋勇治

附錄 中國人民政治協商會議共同綱領

あとがき……………末川 博

定價 二〇〇圓

東 京 有 斐 閣 京 都

會 員……………經濟論叢は一昨年七月より月々刊行致し  
各位へ……………しておりますが、この機會に會費を御納入  
下さいますようお願い致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町

京都大學經濟學部内

京都大學經濟學會

振替口座大阪五〇五三九番

一、會費 年額 八〇〇圓(前納)

一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業  
年次、就職先を學會まで御通知下さい。

一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和二十九年一月二十五日 印刷 定價 六〇圓  
昭和二十九年二月一日 發行

編集兼 發行人 前 田 昇 三

印刷所 京都市下京區七條御所ノ内東町三九番地  
中村印刷株式會社

發行所 京都市左京區吉田本町  
京都大學經濟學會

發賣所 振替口座大阪五〇五三九番  
株式會社 有 斐 閣

本 社……………東京都千代田區神田  
神保町二丁目十七番地  
京都支店……………京都市左京區北白川  
農學部 電話 停 前

# Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

---

---

Vol. 73, No. 2

Feb., 1954

---

---

- Some Problems in the Local Tax Reform Plan.....*H. Kambe*  
Economic Aspects of Accounting Recent Issues.....*N. Kamakura*  
On the Causes why Coalition between the Political Party  
“Seiyukai” and “Minseito” was attempted against the  
Military Party ..... *R. Ichihara*  
Railroad Monopoly and Investment Banking in the  
United States of America ..... *K. Echigo*  
*Kinden-ho* and its Taxation System  
(A comparative study of the system of field-sharing  
and tax-levying in ancient China, Japan and Thailand)  
by *Sogabe Shizuo* ..... *Y. Horie*

---

Published

by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)